

市民の皆さんとの市長との懇談会（馴柴）
～将来のまちづくりについて～

日時	平成 28 年 6 月 4 日（土）10 時 00 分～12 時 00 分	
場所	馴柴コミュニティセンター	
出席者	市民	27 人
	市	中山市長 川村副市長 松尾総合政策部長 岡田都市環境部長 企画課：宮川課長，大貫課長補佐，関ヶ原主査，前田係長 都市計画課：清宮課長，岡野課長補佐，廣津係長，沼崎係長
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の皆さんと市長との懇談会～将来のまちづくりについて～ 次第 ・（仮称）第 2 次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン（素案）の概要について ・新都市計画マスタープランの策定に向けた取組について ・常磐線佐貫駅周辺地域整備基本構想（素案）の概要について ・アンケート用紙 	

【懇談会内容】

1. 開会，市長あいさつ

司会より開会のあいさつ，続いて，中山市長よりあいさつ。

2. 市からの説明

(1) 懇談会の開催趣旨について

市より開催趣旨についての説明

(2) （仮称）第 2 次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン（素案）の概要について

(3) 新都市計画マスタープランの策定に向けた取組について

(4) 常磐線佐貫駅周辺地域整備基本構想（素案）の概要について

市より検討状況について，スライドを用いて説明。

3. 意見交換

- ・（市民）各計画についてそれ自体は 90 点以上のよい出来だと思いが、重要なのは実施期間中にその実現状況を適宜確認していくことである。
- ・（市民）また、市民からのアンケートの結果や、意見交換会等の意見だけを反映した計画ではなく、市外からの意見も取り入れていくべきである。
- ・（市民）市民の意識も向上させるべきであり、面白く楽しい行事とあわせて、まちづくりの関心を広げる必要がある。
- ・（市民）龍ヶ崎は東京から近く、自然が豊かで、市民も友好的であり、インバウンド客にとっての魅力が多いまちであると思う。市民、市役所の方の認識が低いのでは？と感じている。
- ・（市民）道の駅は市民参加型で一緒に検討を進めていきたい。例えば協議会の様なも

のを作るなど。その様な考えは市にあるのか。

- ・ (市民) 佐貫駅構想についても非常に関心が高い。佐貫駅周辺の住民の意見をどのように吸い上げていくつもりなのか知りたい。
 - (副市長) 道の駅に関しては、基本計画を作成する年度である。ある程度の構想(案)や、計画(案)が出来た段階で、意見交換会を予定している(7/30開催予定)その他にもご意見、ご提案を頂けるように努めていく。
- ・ (市民) 住みよいまちを作るには、税金が安く、自由に働ける、生活物資が豊富にある等が必要条件となる。税収の向上を図るためには、失業者の就労支援などが必要であると考えている。
 - (市長) 頂いたご意見をどのように「(仮称)第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」へ反映させるかは、引き続き検討が必要である。
 - (市長) 特に、道の駅に関する意見や提案は、普段の雑談の中でも、意見としても届いている。それらの意見をくみ取れる場所を積極的に作っていきたいと考えている。
 - (市長) 常磐線佐貫駅周辺地域整備基本構想については、地元の皆さま、地権者の皆さまのご意見やご意向があり、皆さまと情報を共有しながら、どのようなイメージを持って進めていくのか検討が必要である。龍ヶ崎市の玄関口として、市内全体にぎわいを波及できるのかを、時間をかけながら、検討したいと考えている。
 - (市長) 龍ヶ崎はインバウンドのチャンスが潜在している。その点をどのように計画に盛り込んでいくのかは、今後の課題である。海外の皆さまに龍ヶ崎市の魅力をどう発信していくかは、一つの大きなテーマである。
- ・ (市民) 一番大事なのは、若い人達のために駅前保育所を作ることである。市内の空き家を、若い人のために活用することも検討できないか。
- ・ (市民) 佐貫駅から新橋駅まで1時間で行けるのは魅力である。駅周辺に子育て支援の機能があれば、外からの移住者も増えてくると思う。
- ・ (市民) 牛久沼辺りに飲み物を買う設備がない。道の駅ができればこれらは解決すると思うが、利用する度に残念に思う。
- ・ (市民) 市内に公園は沢山あるが、遊びの規則が多く何もできない。子供が遊んでいるとまちが元気になるため、規則の緩和が必要と考える。
 - (市長) 「子育て環境日本一」の取り組みの中で、「駅前こどもステーション」が6/27にオープンする。定員が足りない事も予想され、検討が必要だが、子育て環境の充実に関する施策は積極的に進めていきたいと考えている。
 - (市長) 空き家対策については、協議会が設けられ、検討を重ねていく予定である。佐貫駅周辺の空き家は龍ヶ崎市にとって武器になると考えている。

- (市長) 牛久沼については、今まで改善が出来なかった理由を乗り越えて、道の駅を作ることになった。周辺自治体と協力して進めていきたい。
 - (市長) 公園は、利用者、周辺住民の意見を踏まえてルールを作っているが、見直しも必要であると考えている。
- ・ (市民) 「(仮称) 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン(素案)」で、目標人口等が示されているが、この目標が達成できるアクションプランが重要になってくる。アクションプランを練る時はもっと力を入れて、具体的に検討して欲しいと思う。
 - ・ (市民) 先日、つくば市移住促進フェアに参加し、博報堂の深谷信介氏の話聞いてきた。市の良い所だけを発信するのではなく、ターゲットを絞り込み、それに合わせたシティープロモーションを行うべきであると話されていた。その点は専門家の力を借りるべきであると感じている。また、専門家は市内にも一流企業のOBの方がいる。まちづくりに協力してもらえ、専門家が集まれるプラットフォームが欲しい。
 - (市長) 龍ヶ崎市のシティープロモーションについては、アサツー ディ・ケイ(ADK)と連携をしながら進めている。龍ヶ崎は人材の潜在力が高い。市としても積極的に協力を仰いでいきたいと考えている。
 - (市長) 目標人口や、合計特殊出生率等の目標を達成するためのアクションプランについては、具体的で実現性の高い内容すべきだが、その内容については市民の皆さんの意見も反映しながら検討していきたいと考えている。
 - ・ (市民) 若柴町台の下地区は、自然に恵まれているエリアであるため、自然を活かした取組みを進めてほしい。企業誘致等具体的にどのような施策を予定しているのか教えて欲しい。
 - ・ (市民) また、地図上に「若柴宿」と記載されているが、「旧若柴宿」の方がよい。
 - (市長) 若柴宿の名称については、若柴台の方のご意見も踏まえて検討していきたい。
 - (市長) 企業誘致について、駅周辺については、工場ではなくオフィスの誘致を考えている。自然環境を楽しめ、駅から近い環境で仕事出来るのは、他にないように思う。それに合わせて、アクセス性を高める必要がある。国道6号線へ跨線橋をかけて、新たに6号線に接続する道路を造ることは、龍ヶ崎にとって長年の悲願である。台の下を縦断し、周辺の利便性、龍ヶ崎市内の利便性を高める非常に重要な道路になる。また、その道路を活用し、地域の潜在力を最大限に活かしていきたい。
 - ・ (市民) 龍ヶ崎市ならではの施策も必要である。例えば、道の駅等で、日本一うな井の安い店を作り、うな井発祥の地であることをPRするなど。

- (市長) 道の駅は佐貫駅から歩いて 13 分程で着くことができる。佐貫駅を利用して訪れるような道の駅になれば良いと考えている。そのためには、アクセス性、回遊性の向上をめざす必要がある。夕焼けの景色や、うな井、龍ヶ崎コロッケなどは龍ヶ崎市の武器であると考えている。道の駅は、龍ヶ崎のグルメも PR できる場所にしていきたい。
- ・ (市民) 「駅前子どもステーション」の運営方法について教えて欲しい。
- ・ (市民) 駅前のロータリーの整備について、過去に 2 回改修が実施されているが、混雑は改善されていない。3 号線と若柴台の下で計画されている道路と一体的に検討する必要がある。
 - (市長) 朝夕の混乱は、公共バスと一般車が同じ経路であるため起きている。公共交通機関がこの渋滞によって、時間を浪費してしまうという問題がある。公共交通機関に渋滞を及ぼせないという所が改善のポイントとなる。また、ロータリーの広さを活用した整備も検討していきたい。
 - (副市長) 「駅前子どもステーション」については、6/27 から運営開始予定である。民間のあすなろ保育園に委託予定である。
- ・ (市民) 計画の中で、何を優先するのが大事になってくる。若い人がここに住みたくなる環境を整えることが必要である。
- ・ (市民) 道の駅は牛久市にある「ポケットファームどきどき」のような、楽しい場所になってほしい。
- ・ (市民) 市内に、お祝いや記念日などに利用できるレストランが無い。そういう機能を道の駅に併設するのはどうか。単純な道の駅ではなく、大人のデートスポットになるような場所にして欲しい。
 - (市長) 道の駅にも直売所は必要な機能である。市内には直売所が少ない印象がある。
 - (市長) 景色が良い中での食事は贅沢である。その様な場所は龍ヶ崎の武器になると考えている。